

平成23年 3月29日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
敦賀本部

「もんじゅ」及び周辺での放射性ヨウ素の検出について
(お知らせ)

日本原子力研究開発機構敦賀本部は、福島第一原子力発電所での事故による環境影響調査として、高速増殖炉研究開発センター（以下、「もんじゅ」と言う。）周辺の環境放射能監視を平成23年3月22日から強化し、敦賀市白木松ヶ崎（松ヶ崎モニタリングステーション）での大気中のダスト（塵）及びヨウ素を1回/週間の頻度で測定^{※1}していますが、3月22日～28日における採取試料の測定において、極微量の放射性ヨウ素（ヨウ素131）を検出しました。また、「もんじゅ」は、毎週火曜日に排気筒モニタのよう素サンプラの核種分析を行っておりますが、直近の3月29日（3月22日～3月29日採取）の結果で、極微量の放射性ヨウ素（ヨウ素131）が検出されました。

現在、「もんじゅ」は原子炉を停止して設備点検を行っており、また、「ふげん」は廃止措置作業中です。各施設の燃料貯蔵プールにおける放射能測定値に変動はなく、ヨウ素が放出されるような操作を行っていないことから、本事象は「もんじゅ」及び「ふげん」に起因したものではありません。

今後とも、監視を強化し、環境モニタリングに努めてまいります。

(白木松ヶ崎で検出された放射性物質濃度)

採取地点：松ヶ崎モニタリングステーション（「もんじゅ」から南南西に約1km）
採取期間：平成23年3月22日～3月28日
検出核種：ヨウ素131
放射能濃度：0.0007ベクレル/m³ ^{※2}（検出限界値：0.0001ベクレル/m³）

(もんじゅ排気筒で検出された放射性物質濃度)

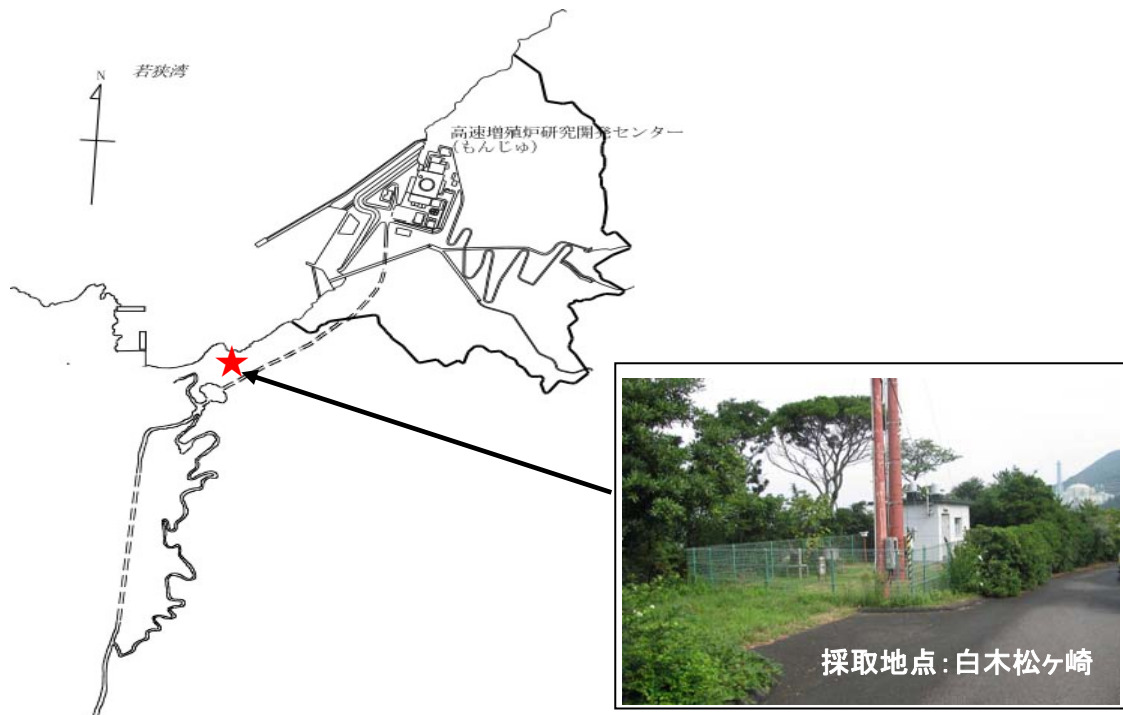
採取地点：もんじゅ排気筒
採取期間：平成23年3月22日～3月29日
検出核種：ヨウ素131
放射能濃度：0.0013ベクレル/m³（検出限界値：0.0012ベクレル/m³）

※1 屋外（大気中）の空気を吸引し、ろ紙に集めたダスト（塵）と活性炭に吸着させたヨウ素を放射性核種分析装置にて測定する。

※2 今回、確認された大気中の放射性物質により受ける放射線量は、1日で0.0003マイクロシーベルトであり、胸のエックス線検診（1回）で受ける放射線量（60マイクロシーベルト）と比較して約20万分の1と十分低い値です。

添付資料：白木松ヶ崎（松ヶ崎モニタリングステーション）周辺地図

以上



白木松ヶ崎（松ヶ崎モニタリングステーション）周辺地図